



INTERNATIONAL SAFEGUARDS  
FOR CHILDREN IN SPORT

# スポーツにおける 子どものための 国際保護措置

自己評価ツール

この自己評価ツールは、あなたの組織におけるセーフガーディング(保護措置)の現状と、今後取り組むべき事項の優先順位を知るためのものです。質問に答えることで、組織の強みと改善点が見えてきます。自己評価の際は、以下の点を心に留めておきましょう。

- これはあなたの組織を試すテストではありません。
- まだ実践に至っていない項目があったとしても、悲観的に捉えるのではなく、ここを出発点と考えましょう。
- 現状に正直であればあるほど、これからの成長が可能になります。
- あなたの組織がどのくらいセーフガーディングを実現できているのかを知り、どのように前進するかを理解することが重要です。

#### チェックポイントについて

以下のチェックポイントは、子どもを守るためのすべてのスポーツ組織が満たすべき最低基準を導き出すよう作られました。あなたの組織の事業内容や特徴によって、一部のチェックポイントが他のものよりも重要である可能性もあります。

この自己評価ツールでは、8つの保護措置をもとにあなたの組織について考えていただきます。各項目にはいくつかの基準があるので、それぞれをしっかりと読み、あなたの組織の状況に近いものを選んでください。

- A: 当てはまる / 実施している**
- B: 一部当てはまる / 一部実施している**
- C: 当てはまらない / 実施していない**

## 保護措置 01: ポリシーの策定

あなたの組織・団体に保護措置ポリシーはありますか？ はい/いいえ

「はい」の場合、以下の内容について、あなたの組織はA、B、Cのどれにあたりますか？

「いいえ」の場合は、ポリシー策定にあたり以下の点を検討しましょう。

	A	B	C
1 あなたの組織には、明らかに文書化され、理解しやすい保護措置ポリシーがあります。			
2 このポリシーでは、あらゆる形態の危害についてのあなたの理解と定義が明確に記載されています。			
3 このポリシーは、あなたが行う事業のあらゆる点において、子どもの安全保護に対する組織の約束を明記します。			
4 このポリシーでは、すべての子どもが同じレベルの保護を受ける権利を有していることが明記されます。			
5 このポリシーは、あなたの組織の最高レベルのスタッフにより公式に承認されています。			
6 組織の最高レベルのスタッフには、このポリシーを実施する監督責任があります。			
7 すべてのスタッフ、ボランティア、養護者やその他の代表者は、ポリシーに署名し、同意しています。			
8 あなたの組織は、ポリシーの当初の策定および／または継続的なレビュープロセスの一環として、子ども、保護者／養護者やスタッフに相談しています。			
この保護措置を総合的にみると、あなたの組織はA、B、Cのどれにあたりますか？			

## 保護措置 02

### 保護措置に関する懸念に対応するための制度の策定

以下の文章について、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？

	A	B	C
1 子どもの安全や福祉に関する懸念がある場合にどのような行動を取るべきかについて詳細なガイドを提供する明確な手順が、組織内と組織外の両方で策定されています。			
2 あなたの組織では、事件や疑い、苦情が報告された際、またはその後に子ども、ボランティアやスタッフをサポートするための実施計画が策定されています。			
3 組織内には、保護措置をリードする責任を負う特定されたスタッフがいます。			
4 あなたの組織は子どもや青年に、自分たちが持つ権利や、心配しているときに誰に相談することができるかについての情報を、彼らが安心できるプロセスを通じて提供します。			
5 あなたの組織は子どもや保護者／養護者に、開示後にどのようなことが起きる可能性があるかについての情報を、誰もが理解しやすい形式や言葉で提供しています。			
6 あなたの組織には、公正で透明性の高い方法で苦情に対処する、上訴プロセスを含むプロセスがあります。			
7 すべての事件や疑い、苦情はセキュアに記録、監視、保存されます。			
8 あなたの組織は、対応制度の当初の策定および／または継続的なレビュープロセスの一環として、子ども、保護者／養護者やスタッフに相談しています。			
この保護措置を総合的にみると、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？			

## 保護措置 03

### アドバイスとサポート

以下の文章について、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？

	A	B	C
1 国や地域レベルで児童保護における支援を提供している、関連する児童保護機関やNGO、コミュニティグループと連絡関係が築かれます。			
2 あなたの組織は、子どもの安全を維持する特別な責任を負うスタッフが、専門的なアドバイス、サポートや情報に対処するよう徹底します。			
3 子どもたちには、自分や他者の安全を維持するためのアドバイスやサポートが提供されています。			
4 あなたの組織の制度は、付加的な脆弱性がある子ども (障害など) が助けを求めるのに、余分な障壁に直面する可能性があることを認識しています。			
5 より広範なコミュニティにおける保護者／養護者には、子どもに対する保護措置についての情報やアドバイス、サポートが提供されています。			
この保護措置を総合的にみると、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？			

## 保護措置 04

### 子どもに対するリスクを最小限に抑える

以下の文章について、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？

	A	B	C
1 活動や移動手段、宿泊施設、空間についてのリスク評価が可能です。			
2 リスク評価で特定されたリスクを最小限に抑えるための対策が講じられます。			
3 リスクが大きすぎると判断された場合は、その活動は実行されません。			
4 スタッフやボランティアが、一部の子どもたちが人種、性別、年齢、宗教、障害、性的指向、社会的背景や文化の理由により曝される追加のリスクを認識できるようにするためのトレーニングがあります。			
この保護措置を総合的にみると、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？			

## 保護措置 05

### 行動に関するガイドライン

以下の文章について、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？

	A	B	C
1 あなたの組織は、尊厳、尊重、思いやりと公正な態度で人々に接することについての記述を含む行動のガイドライン (行動規範) を策定しています。			
2 あなたの組織には、子どもを他者の保護下に割り当てたり、泊まりがけの滞在を手配することを含め、自宅外で過ごされる時間を含む活動に関するガイダンスや期待があります。			
3 組織が子どもを他者の保護下に配置することがある場合は、どのようなことが期待されるかについて子どもと話し合うミーティングが頻繁に行われています。			
4 あなたの組織では、障がい者の子どもとの活動についてガイダンスが策定されています。			
5 あなたの組織には、子どもが危険にさらされたり、搾取されやすくならないよう徹底するための、情報技術やソーシャルメディアの適切な使用に関するガイダンスがあります。			
6 あなたの組織には、体罰や、その他の品位を傷つけたり屈辱的な扱いを伴わず、年齢と性別に適切な方法で子どもの行動を前向きに管理する方法についてのガイドラインがあります。			
7 あなたの組織には、他者、とりわけ他の子どもに対し期待され、許容される子どもの行動 (学習の取り決めなど) についてのガイドラインがあります。			
8 組織の懲戒手続きに関連する行動に関するガイドラインに従わないと、それは明白な結果につながります。			
9 組織の最高幹部には、ガイドラインが遵守されていることを徹底する責任があります。			
10 あなたの組織は、行動に関する組織のガイドラインの当初の策定および／または継続的なレビュープロセスの一環として、子ども、保護者／養護者やスタッフに相談しています。			
この保護措置を総合的にみると、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？			

## 保護措置 06

## 採用、研修とコミュニケーション

以下の文章について、あなたの組織はA、B、Cのどれにあたりますか？

	A	B	C
1 職務記述書には、尊厳、尊重、思いやりと公正な態度で人々に接することについての記述が含まれています。			
2 採用プロセスには面接、人物証明書／雇用推薦状や、地域の法律に従って行われる素性調査が含まれます。			
3 スタッフ、ボランティアやその他の関係者は全員が、懸念事項の報告方法を含め、保護措置や児童保護を確実にするための訓練を受けています。			
4 組織の最高幹部レベルには、このポリシーを実施する監督責任があります。			
5 保護措置に関する特別な責任を負うスタッフ、ボランティアや関係者は全員が、通常の追加研修や専門家によるサポートにアクセスすることができます。			
6 あなたの組織は、組織の採用、研修と開発の当初の策定および／または継続的なレビュープロセスの一環として、子ども、保護者／養護者やスタッフに相談しました。			
この保護措置を総合的にみると、あなたの組織はA、B、Cのどれにあたりますか？			

## 保護措置 07

### パートナーとの協働

以下の文章について、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？

	A	B	C
1 あなたの組織は、保護について同じ期待を共有していることを確認するために、パートナー／メンバーと協働しています。			
2 あなたの組織は、スポーツを子どもにとってより安全なものにするための学習の共有方法について合意するために、パートナー／メンバーと協働しています。			
3 あなたの組織は、子どもと一緒に活動することに関連する現行のベストプラクティスに関する書面のガイダンスを共有しています（「スポーツにおける子どものための国際保護措置」の共有など）。			
4 あなたの組織の保護措置ポリシーは、パートナーシップ／メンバーシップ契約の重要な部分を反映しています。			
5 あなたの組織は、そのポリシーをコミュニティやパートナー、メンバーに対して公表しています。			
6 あなたの組織は、コミュニティが子どもの保護措置の重要性についてより敏感になるように取り組んでいます。			
この保護措置を総合的にみると、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？			

## 保護措置 08:

### 監視と評価

以下の文章について、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？

あなたの組織の効果を監視・評価する次のような制度があります。	A	B	C
1 ポリシー			
2 保護上の懸念に対応するための制度			
3 アドバイスとサポート			
4 子どもに対するリスクを最小限に抑えるための制度			
5 行動に関するガイドライン			
6 採用、研修とコミュニケーション			
7 子どもを守るためのパートナーとの協力			
8 組織の最高幹部レベルには、この監視と評価システムの実施を監督する責任があります。			
9 あなたの組織は、この監視と評価システムの当初の策定および／または継続的なレビュープロセスの一環として、子ども、保護者／養護者やスタッフに相談しています。			
この保護措置を総合的にみると、あなたの組織は A、B、C のどれにあたりますか？			

セーフゲーディングの重要な1歩となる自己評価はこれで終了です！

各項目で記した結果を以下の表にまとめて、あなたの組織の現状を把握するとともに、セーフゲーディングにおける次のステップのためにご活用ください。

	A	B	C
保護措置 01			
保護措置 02			
保護措置 03			
保護措置 04			
保護措置 05			
保護措置 06			
保護措置 07			
保護措置 08			